

◆通所介護ナイス・デイ◆訪問介護ナイス・ケア◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら



vol. 150通信  
H25年2月10日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス  
愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036  
代表TEL：(0567) 26-3921  
FAX：(0567) 26-3922  
ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

利用状況案内板 (☆募集中 ★満員)

☆ナイス・ケア(定員なし)

☆ナイス・デイ (定員10名/日)

日	月	火	水	木	金	土
6	4	5	6	6	6	5

☆ナイス・ホーム(登録者17名/定員21名)

☆愛宕の家(入居者14名/定員17名)

☆つしま紹介所 ☆ナイス・キッズ ☆打太鼓

～上記を参考にご利用ください～

《2月予定》

10日 外食DAY  
20日 避難訓練  
未定 誕生日会

※不定期行事

その日の天気や意欲等の状況で判断し外出先一覧を参考に社会生活参加しています。

4月、打太鼓は職員以外の参加募集しま～す♪

ステップUP!

三宅島太鼓ってご存知ですか？ナイス・キッズで和太鼓練習をしている子供達の間では『大きくなったら打てる太鼓(曲)!!』と思われています。私もこの曲には特別な想い(本当にかっこいいのだ)がある。小さい子供達は大きいお兄ちゃんが三宅太鼓を打っていると『オレもやりたいな～』『オレ、ツクドン出来るよ～』と何回も言う。

さあ、この度、ちびっ子2人を仲間入りさせて打ってみた。おっ!! 初なのにもフォームも見事に決まってるう～。憧れて見ている力というのは素晴らしい。教える私はとってもワクワク♪今から目一杯練習し、きまぐれ市かな？藤祭りかな？甚目寺観音朝市かな？まあ、いずれかでお披露目しますね！ ナイス・キッズ&打太鼓 <R・W>



困った時こそお手伝い

- ① 急に人の手助けが必要になった時  
(大掃除や留守番の家事や介護サービス)
- ② 介護保険では頼めないことを助けて欲しい
- ③ 短時間や週一回、月一回又は、夜間のみの手助けが必要
- ④ 入院して病院から家族の付き添いを求められたが、都合が付けられない時等

とても簡単な申込み手続きや利用契約で、個々の事情に合った家政婦の利用方法を一緒に考え、実際のお手伝いを得る事が可能です。利用料金や仕事内容の相談など、気軽にご相談下さい。

専用電話番号:0567-25-1281 つしま紹介所 <Y・I>

適切な情報提供や提案を。

市より津島市訪問介護事業所連絡協議会の幹事をしている私に「在宅医療における薬剤師と他職種連携について」の打合への参加要請を受け、1月25日に喜んで参加した。

在宅生活を送っている利用者さんの支えになりたい訪問介護事業所としては、薬の管理等は一番の悩みどころ…。他職種の方々の発言を聞いて、Yさんが想像できた。

要支援・週3回の訪問介護利用をしている独居のYさん。多くの病を持ち、沢山の薬を服用。体調に異変を訴えられると、「受診しよう。」と助言し、受診予約を取る事で対応できていると思っていた。しかし、この度の診断結果には新たな病気の影が発見された。

日常生活を良く知る立場の私達に“居宅療養管理指導の利用”という制度が、薬剤の管理だけでなく相談助言も受けられると知っていたら…。適切に内服薬のコントロールも行え、もしかすると、早期発見に繋がったかもしれない…と強く感じた。ヘルパーとしては自宅訪問し、ケアマネ等と協働連携し現状を伝え合う事が大切な業務だと考えていたが、この「他職種連携について」の打合せの機会を得たことで、新しい情報や知識を持ち、個人に合った制度利用の提案もできるようになりたいと切に思った。 ナイス・ケア <M・N>

基礎体力

毎日寒い日が続きます。木枯らしが木の葉をゆらし、白い雪もチラチラ…。季節上、外での体操は難しくなりましたが、ナイス・デイやナイス・ホームへも声を掛け、時には合同で時には別々に…と体力作りに励んでいます。そして、少々寒くてもコートや帽子、ひざ掛け…と、防寒装備を身にまとい、外出を楽しみます。SOSは各事業所が少人数定員。そのため、各利用者さんに合った動きがし易いのも良いところ。お喋りにも花が咲きます。時には「もっと話聞いて～」と要求される事も♪♪  
食べる・寝る・動く・そして喜怒哀楽。寒いからといって縮こまっていたはいけません。冬の寒さに負けないよう心身共に鍛えましょう！ 愛宕の家<K/N>



自宅への強い思い

昨年11月中旬に退院。直後から通いと泊まりを連続利用し、自宅復帰の準備してきたTさん。状態がどこまで安定するのか？どこに援助が必要なのか？自宅の状況は？と様々なことを模索しながら自宅へ帰る道考えた。10日後、転倒等の危険はあるものの、本人の強く明確な希望に、家族もホーム職員も自宅へ帰ることを決行。

翌日、訪問すると転倒…。受診の結果、骨折と診断を受け、再び入院した。

面会時、Tさんは、ベッド上で「1日でも自宅でゆっくり眠れてよかったよ～」と微笑んで言った。たった一日、たったの一晩でも自分の家に帰れた…と、とっても幸せだったのだと嬉しそうに話してくれたTさんに、私の心は思いっきり揺さぶられた。

私は、自分の家で食事し、寝起きし、風呂に入り、くつろぎます。そして、家の玄関では「行ってきます」と「ただいま」を繰り返しています。当たり前…。

独居の方に限らず、病気を抱える高齢の方が自宅で生活するのは容易いことではないと以前から実感している。しかし、Tさんに限らず、殆どの方は自分の家で生活したいと願っている。当然、今の私にとっては当たり前の事も、数十年後には叶わなくなる時がやってくるのだと想像すると、今からちょっと不安である。

Tさんは、昨年末に晴れて(?)退院を迎えた。Tさんの希望は「自宅へ戻りたい。」

皆が反対する中、本当に在宅が無理なのかを再度見極めるためにも、再び小規模多機能へ登録。約一ヶ月間の関わりの中で、本人とご家族も私達も、“現段階では家に帰るのは難しい”と判断。1月末には有料老人ホームへの入居を決めました。

しかし、本当にこれで良かったのか…。誰が何と言おうが、『家に帰りたい。』と希望される方によりよき方法で関われる術はないものか、今でも考え続けています。

ナイス・ホーム <Y・O>

みんな元気？

「今日もここに来てホントに良かった。」「ホントにここに来るのが楽しみだよお!」と、最近になってよく言われる大正生まれのIさん。元々、他のデイサービス利用をしていた方なので過ごし方には慣れていた？入浴拒否。午後になると不穏。落ち着かない日々が何ヶ月も続く。それが、ふと気付いてみると、入浴の声掛けにも「ほいな」と拒否はなし。午後からも不穏になる事が少なくなった。

ナイス・デイの利用に対して、特に楽しみにしている事がある様子にも見えなかったので率直に質問してみた。「ここに来て何がそんなに楽しみ？」

『そりゃ～、ここに来ると皆の顔が見られるでだわさっ(笑)』

私の想像とは違う回答だったが、嬉しいお言葉。そういえば、迎えに伺うと、開口一番「みんな元気？」と毎回聞かれる。

なるほど、なるほど…。まだ若いと思っているご長寿Iさん、いつまでもいつまでも、健康で長生きしてナイス・デイにお越し下さいませ。 ナイス・デイ <M・O>



日々感じること…12月号より続き～

《本来、胃ろうは適切に使えば、患者を元気にする可能性を持つ医療処置だ。ということは、使うからにはある程度の研鑽と努力が求められる。結果を出せなければならぬことはしんどいことだ。それを回避しようと、苦肉の策として「胃ろうは延命処置だ」と言ってしまうと、医師はとても楽になる。死なない程度に使えば良いのだから、患者をもう一度元気にしてあげよう、社会復帰させてあげよう、といった面倒臭いことから放免される。胃ろうをリハビリテーションの一環として活用してきた実践者からすれば、信じられないことだけれども、こんなことがまかり通っているようだ。》～来月に続く

餃子が大好きな息子。「ご飯、何食べたい？」と聞くと嬉しそうに「ぎょうざー！ボクも作れるよ。」と一緒に台所に立つ。10ヶ月の弟はその間、おもちゃ触り放題♪看護師<M・T>

猛威を振っているインフルエンザ。感染していませんか？幼子や高齢者は命に関わる事もあります。介護に携わる者は、菌の媒介者になってしまったり、感染している方の介護に対応し自分が感染してしまう可能性もあります。手洗い・うがい・マスク・規則正しい生活、適度な運動。当たり前のようなことですが大切な予防策です。十分な対策を行い業務に努めます。今季も元気に乗り切りたいものです。 編集後記 <Y・O>